昭和26年3月12日第3種郵便物認可　平成27年6月1日発行（毎月1日発行）第65巻 第6号
ISSN 0913-9850

2015 Vol.65
6月号

MONTHLY かもつ

第13回理事会を開催

カーボンブラックをフレコンや紙袋で輸送
キャボットジャパン株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会
日本貨物鉄道株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会

我が国の貨物輸送の分野について、物資の安定・供給及び地球環境負荷（輸送量当りのCO_2排出量）の観点から、輸送方法の研究及び研究成果の普及啓発活動を行い、以って国民の生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境の保全に資することを目的とする。

JR貨物

価値を運ぶネットワーク

私達は鉄道貨物輸送を基軸としてその未来における新しい役割を認識するとともにより総合的な物・価値・情報の交流を創造しお客様の信頼に応え豊かな社会の実現に貢献します。

Index

表2 土木・建築遺産

1 第13回理事会を開催
2 平成26年度（公社）鉄道貨物協会事業報告
6 政府等関係機関への要望書
7 エコレールマーク認定証贈呈式を実施
エステー株式会社　九州工場
8 横浜本牧駅見学会を開催　千葉支部
貨物時刻表新規取扱い書店の紹介
9 貨物時刻表へのメッセージVol.3
10 貨物時刻表へのメッセージVol.4
11 支部自慢　水戸支部

12 FREIGHT EYE

14 会員企業紹介　株式会社書泉
15 協会ニュース／リフレッシュクイズ

16 モーダルシフト
キャボットジャパン株式会社
20 貨物鉄道の仕事ガイド　本社指令の仕事
22 SPOTLIGHT　150mレール輸送用貨車を開発
24 トピックス
表3 今月号の「表紙写真」　今月号の「FREIGHT EYE」
JR貨物輸送概況

第13回 理事会を開催

●期日：平成27年4月23日（木）　●場所：如水会館（東京都千代田区）

4月23日に如水会館において、理事17名と監事3名が出席し第13回理事会が開催されました。理事会は次第に沿って進められ、米本理事長から常日頃からの協会活動に対する謝辞と鉄道貨物協会の取組みについて等の挨拶の後、JR貨物代表取締役社長 田村修二様からJR貨物の近況と「モーダルシフト促進のための貨物鉄道の輸送障害時の代替輸送に係る諸課題に関する検討会」についてのお話をいただきました。

続いて、定款の定めに従い米本理事長が議長を務め、議案の審議が行われました。各議案について業務執行担当より説明が行われ、審議の結果全て原案どおり承認されました。

米本理事長

田村社長

議　案

第1号議案　平成26年度事業報告と決算の承認について
第2号議案　理事及び監事の選任について
第3号議案　平成26年度会員等の入会及び退会について
第4号議案　政府等関係機関への要望書（案）について
第5号議案　評議員の選任及び退任について
第6号議案　評議員の改選について

なお、定時社員総会に付議することを本理事会で承認された第1号議案から第4号議案については、5月25日（月）に開催された平成27年度定時社員総会において原案どおり承認されましたので、次ページ以降に「平成26年度事業報告」及び「政府等関係機関への要望書」を掲載しています。

平成26年度 事業報告

公益社団法人 鉄道貨物協会

当協会は、鉄道貨物輸送の果たすべき役割を認識し、「本部委員会」による調査研究活動、「エコレールマーク」の普及と拡大、「マンスリーかもつ」や「貨物時刻表」による啓蒙活動及び地域に根差した支部活動に努め、「国民の生活に不可欠な物資の安定供給」と「地球環境の保全の実現」に寄与すべく活動してまいりました。
今年度の主な活動は、以下の通りです。

1 本部委員会活動の充実

当協会は、貨物輸送において、国民の生活に不可欠な物資をより安定的に提供できる輸送方法、かつ環境負荷が少ない輸送方法の調査研究を行い、その知識や研究結果を啓発し普及させることで、国民生活に不可欠な物資の安定供給と地球環境の保全に寄与することを目的としております。

鉄道貨物輸送が他の輸送手段と比較して環境の負荷が少なく、安全で安定的に物資の輸送ができることから、本部委員会において鉄道貨物輸送に係わる諸問題について研究し、その成果を報告書や会誌等で公表するなど委員会活動の普及に努め、鉄道貨物輸送の一層の利用促進に資する取組みを行っております。

平成26年度の本部委員会は、25年度に引き続き「利用促進委員会」、「輸送品質向上委員会」の2委員会構成とし、活発な委員会活動を推進しております。

委員会審議テーマについては、荷主企業会員の声を反映させるなかで、1委員会2テーマの計4テーマを選定し委員会活動を進めてまいりました。

本部合同委員会

(1)「利用促進委員会」……8回開催

①審議テーマ

A. 年間テーマ
『鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた業種別の利用実態把握・課題の抽出と提案』

B. サブテーマ
『鉄道コンテナ輸送における養生材の効率的な回収システムについての調査研究と提言』

②審議内容

A. 年間テーマ『鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた業種別の利用実態把握・課題の抽出と提案』

平成25年度の利用促進委員会では、「鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた新サービスの検討と提案」をテーマとして、意向調査を実施することにより、荷主企業が欲する新サービス(既存サービスの改善を含む)について提案しました。

平成26年度は、鉄道コンテナ輸送を利用いただいている荷主企業を、業種別に利用の実態及び利用拡大に向けた課題・要望並びに将来の見通しについて、ヒアリング調査、文献調査等で把握と予測を行い、さらなる増送を図るための基礎資料とするべく調査研究に取組んで来ました。

こうして、業種別に鉄道コンテナ輸送の潜在需要を掘り起こすための条件や課題を整理することにより、鉄道コンテナ輸送のより一層の利用促進に向けた提案について審議を進めてまいりました。

<審議経過>

ア.年間テーマの調査・研究の概要説明(調査目的、調査方法)
イ.鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた利用実態の把握・課題の抽出のためのヒアリング調査の実施(荷主企業:16件)、文献調査の実施
ウ.鉄道コンテナ輸送量の中期見通しの推計
エ.ヒアリング調査の内容分析をするなかで、課題、要望の整理を行い、具体的提案に向けての審議
オ.まとめ

B. サブテーマ『鉄道コンテナ輸送における養生材の効率的な回収システムについての調査研究と提言』

現在、鉄道コンテナ輸送を利用している荷主企業および利用運送事業者の中には、養生材にかかるコスト(原材料コスト、返回送コスト、処理コスト等)が大きな負担となっている企業は少なくなく、また、ストレッチフィルムなどの処理方法等についても苦慮している企業があるものと推察されます。本調査研究においては、養生材の回収システムや処理方法に関するケーススタディを行い、現状における主要な養生材の回収システムや問題点などを把握するとともに、ストレッチフィルムなど、利用後廃棄処理される養生材の処理方法や問題点についても把握しました。

これにより本調査研究においては、駅頭への養生材のストックを提案するための基礎資料とするとともに、荷主企業が養生材を利用・処理する一助とするため、審議を進めてまいりました。

<審議経過>

ア.サブテーマの調査・研究の概要説明(調査目的、調査方法)
イ.鉄道コンテナ輸送における養生材の効率的な回収システムについての調査研究に関するヒアリング調査の実施(荷主企業:16件、利用運送事業者3件、養生材商社・メーカー4件、養生材処理業者2件　計25社)

ウ.養生材利用の現状および効率的な回収システムについての調査結果を中間報告
エ.ヒアリング調査の内容分析をするなかで、課題の整理を行い、具体的提言に向けての審議
オ.まとめ

(2)「輸送品質向上委員会」……8回開催

①審議テーマ

A. 年間テーマ
『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた荷擦れ・荷崩れ対策に関する調査研究と提案』

B. サブテーマ
『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた防振資材の最適化検証調査』

②審議内容

A. 年間テーマ『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた荷擦れ・荷崩れ対策に関する調査研究と提案』

鉄道コンテナ輸送における荷擦れ・荷崩れ事故に関しては、平成24～25年度調査において、主に段ボール箱輸送時の状況について、現地調査及びヒアリング調査（荷主・利用運送事業者24箇所を対象）により各種の分析を進め、一定の成果を得ることができました。

しかしながら、段ボール箱以外の荷姿である板紙、巻取紙、紙袋及び一斗缶等の荷擦れ・荷崩れ事故に関しては、未着手のため調査の余地が残されており、業種別という観点からも、過去2年間で調査してきた食品や飲料、日用品に加え、紙製品や化学工業品等を調査対象に加えることにより、主要な鉄道利用業種を網羅的に捉えることが可能となります。その結果、荷擦れ・荷崩れに関するデータもさらに蓄積されていくことから、これまでの調査研究がより一層厚みを増すものと考えました。

また、JR貨物が平成25年度に実施した「コンテナ輸送品質向上キャンペーン」では養生資材購入支援が行われましたが、これらの支援を受けた事業者に対しヒアリング調査を実施し、改善状況等を調査することも、同キャンペーンと一体となった取り組みの一つになると考えました。

以上の理由から、平成26年度は、段ボール箱以外の荷姿にも着目し、荷擦れ・荷崩れ事故防止に向けたさらなる提案を行うことを調査目的として取り組んでまいりました。

<審議経過>

ア.年間テーマの調査・研究の概要説明（調査目的、調査方法）
イ.年間テーマに基づくヒアリング調査の実施（荷主企業6社、利用運送事業者6社）
ウ.現地調査及びヒアリング調査に基づく「荷擦れ・荷崩れ対策」に関する調査研究と提案
エ.まとめ

B. サブテーマ『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた防振資材の最適化検証調査』

平成24年度調査では、鉄道輸送中における振動を抑制する機材の一例として防振資材の性能確認を行い、平成25年度調査では、輸送中の製品状態を撮影することにより荷擦れ、荷崩れ事故が起こる状態を確認した際、防振資材の状況も把握しました。

その結果、上下方向には一定の防振効果が認められるものの、水平方向に関しては防振効果が小さいことが分かりました。

しかし、輸送する商品によって防振効果に影響が生じることも分かってきており、汎用性の高い防振資材の検討が必要となりました。これまでサブテーマで検証してきた防振資材は貨物の積載量によって防振効果が異なることが推察されているため、積載量を踏まえた防振資材の設計を行い、汎用性が認められるものか検証することにしました。

そこで平成26年9月、荷主企業にご協力いただき、越谷貨物ターミナル駅～福岡貨物ターミナル駅間を利用するコンテナ内に振動計測器とドライブレコーダーを設置し、加速度値と映像から防振効果を把握する調査を実施しました。

これらの調査・分析結果について審議を行い、実験のまとめを実施しました。

なお、平成25年度本部委員会報告書を鉄道貨物輸送の認知度向上と利用促進を図る目的で広く全国の国公立等の図書館及び各都道府県、市町村等約1,550箇所へ寄贈いたしました。

さらに、現在、21年度から25年度までの5年間分の本部委員会報告書が当協会ホームページにて閲覧できますので、ご活用下さい。

(3)講演会及び研究発表会による勉強会の実施（本部委員会合同企画）

「第2回輸送品質向上委員会（5月29日）」では、「利用促進委員会」の参加希望委員と合同で、次のとおり講演会及び研究発表会による勉強会を実施しました。

①「鉄道・トラック輸送におけるリスク管理と新たな対策の提案」
講　師：全国農業協同組合連合会 農学博士
打田　　宏様

②フォークリフトの振動抑制試験結果について
発表者：ユニキャリア株式会社
大地　茂男様（輸送品質向上委員会委員）

(4)物流施設の見学・現地調査の実施（本部委員会合同企画）

①貨物駅の視察

・「第2回利用促進委員会（5月21日）」では、「輸送品質向上委員会」の参加希望委員と合同で、梶ヶ谷貨物ターミナル駅と隅田川駅の二つの貨物駅とその周辺の施設を見学しました。
・「第4回輸送品質向上委員会（9月19日）」では、「利用促進委員会」の参加希望委員と合同で、東京貨物ターミナル駅と周辺の施設を見学しました。

②物流施設の見学

「第3回輸送品質向上委員会（7月23日）」では、「利用促進委員会」の参加希望委員と合同で、日本通運（株）成田第三物流センターと成田国際空港貨物地区内の日本航空（株）の航空貨物上屋を見学しました。特に日本通運（株）の同センターにおいて、特許を取得された航空機搭載用の「防振パレット」のメカニズムを調査しました。

貨物駅の視察（隅田川駅）

2 エコレールマークの普及

平成26年度のエコレールマーク事業計画は、エコレールマーク事業を事業基盤の足場固めとすべく前年度と同様に認定件数を300件に増やすことを目標に、以下の様な取り組みを行ってまいりました。

取組みの結果、エコレールマークの認定件数は、商品認定190品目、取組企業認定87社、協賛企業認定23社の計300件で、目標を達成することができました。

(1)出張型教室の実施

次世代を担う児童達にエコレールマークを浸透させるために取り組んでいる「出張型教室」の実施については、上期に学校関係者に働きかけを行った結果、10月に川崎市立宮前小学校、11月には川崎市立川崎小学校において実施しました。児童達に鉄道貨物輸送とエコレールマークについて学んでもらうことができ、終了後には「物を運ぶ場合、鉄道貨物輸送が地球環境に貢献していることを知りました」などの感想をいただきました。

(2)各種環境展等のイベントへの出展

エコレールマークの普及を目的として、各種イベントへの出展については、5月にエコレールマーク協賛企業のスーパーが開催したイベントに出展、9月には東京都江東区の大型スーパーで開催されたイベントに出展しました。また10月には埼玉県越谷市の大型スーパーと大阪府八尾市の大型スーパーで開催された両環境イベントへ出展しました。特に埼玉県越谷市における大型スーパーのイベントについては、日本貨物鉄道株式会社様及び関係利用運送事業者様等のご協力を頂きながら実施致しました。

これら大型スーパーとのコラボイベントの取組みは、そのテーマが環境であること、また、多くの集客が見込まれる大型スーパーでのイベント参加はエコレールマークの周知に絶大な効果があると考え、特に力を入れました。今回これらのスーパーのうち1社は、エコレールマークの趣旨をご理解頂き、エコレールマーク認定を取得していただきました。これを契機に、その取引先企業へのエコレールマーク取得に繋げていきたいと考えています。また、12月には恒例となった国内最大級の環境展である「エコプロダクツ2014」に出展しました。この環境展の昨年度のアンケートではエコレールマークを知っていたという回答が32.5%でしたが、今年度は40.2%と増えたことが確認できました。

大型スーパーでのイベントへ出展

(3)エコレールマーク認知度向上の取組み

平成27年2月に開催されたエコレールマーク運営・審査委員会において、新規に認定された企業及び商品名を当協会のエコレールマーク関係のパンフレット等に新たに掲載しました。これに併せてパンフレットリニューアルを行いました。また、主に小学生を対象としたハンドブック「みんなで学ぼうエコレールマーク」について、新たにエコレールマーク印字商品が増えたことからハンドブックの更新を行い、第5版として改版しました。これらの出版物については、本部・支部主催のイベントにおいて配布しました。また、エコレールマーク取組企業の環境に対する意識は年々高まりを見せております。これらの商品の実物をイベント等で展示するとともに、エコレールマーク説明時に活用し、エコレールマークの認知度向上に取り組みました。

リニューアルしたパンフレット

(4)エコレールマーク看板等設置

エコレールマークの認知度向上を目的として行っているエコレールマーク看板等の設置については、今年度は東海道線稲沢駅のホームの向かいにある、JR貨物東海支社の社屋窓と鹿児島線の車内から展望できる浜小倉駅信号所の側壁及び北九州貨物ターミナル駅の二階窓の三箇所にエコレールマークステッカーを貼りました。なお、ステッカーは強い印象を与えるために各箇所複数枚貼付けました。

3 支部活動の活性化と充実

地域における協会活動を推進する役割を担っている支部活動については、本部委員会と連携した「利用促進会議」や「企業見学会」、「エコレールマーク普及活動」及び一般にも公開を行っている「講演会」や「セミナー」など、地域社会に根差した地道な事業運営を行ってきました。また、本部からも活性化に向けての支援を行いました。

(1)地域に即した「利用促進会議」の活性化と充実

各支部の「利用促進会議」の充実については重点施策の一つであり、各地域における鉄道貨物輸送の利用促進や輸送品質向上に関わる身近な課題などを検討する場としての「利用促進会議」が各支部において開催され、本部からも積極的に参加し、連携の強化を図ってまいりました。

(2)物流施設及び企業見学会の開催

物流施設や工場などの見学会を実施し、会員等各社の今後の業務に役立てていただくとともに会員等相互の情報交換を図りました。また、この中で鉄道貨物輸送の認知度向上と利用促進に向けた情報の提供も行いました。

企業見学会

(3)エコレールマークの認知度向上及び普及に向けた取組み

エコレールマークの認知度向上及び普及を図るため、本部・支部が一体となって各地区で行われるイベント等で

の出展、パンフレット等の配布及び説明会等でエコレールマークの紹介を行いました。

エコレールマーク認定商品の展示

(4) 講演会、セミナー等の開催

各支部において有識者等による講演会やセミナーなどを開催し、支部の活性化と会員相互の親睦を図りました。

4 会誌「マンスリーかもつ」の発行

協会活動の報告とPR及び会員等相互の情報交換の場を提供している「マンスリーかもつ」ですが、今年度から「お国自慢」を「支部自慢」に、リフレッシュクイズの内容を「三ツの間違い探し」から当協会及び鉄道貨物輸送に関連した「豆知識クイズ」にリニューアルし、楽しみながら、これらに対する理解を深めていただくことを目指しました。

その他の「マンスリーかもつ」を活用した主な取り組みについては以下のとおりです。

(1)協会事業等の報告

- 平成26年度事業計画と平成25年度事業報告
- 理事会、定時社員総会、支部通常総会、常任委員会、エコレールマーク運営・審査委員会等の開催
- 政府等関係機関への要望書

(2)本部委員会の報告及び本部・支部の活動報告

標記については主に以下の活動を紹介いたしました。

- 利用促進委員会及び輸送品質向上委員会審議内容の紹介
- 各支部利用促進会議、講演会・セミナー、企業見学会等の実施状況の紹介
- 環境展・各種イベントへの出展状況の紹介

(3)会員企業及びエコレールマーク認定企業の紹介

標記については以下の会員企業及び認定企業の紹介を実施いたしました。

- パナソニックストレージバッテリー(株)(4月)
- (株)ブルーエナジー(5月)
- 東亜道路工業(株)(6月)
- ダイキン工業(株)(7月)
- (株)三省堂書店(8月)
- エア・ウォーター(株)エコ・ロッカ事業部(9月)
- ワコール流通(株)(10月)
- 日通ハートフル(株)(11月)
- (株)バンダイ(12月)
- 日本パレットプール(株)(1月)
- 太平洋セメント(株)(2月)
- 秩父鉄道(株)(3月)

(4)その他

- 支部自慢、協会ニュース、リフレッシュクイズ等

5 貨物時刻表の発行

貨物時刻表には貨物列車運転時刻等の掲載はもとより、当協会の公益法人としての活動や鉄道貨物輸送の利便性を広く国民の皆様に知っていただくための広報媒体であります。その趣旨から「2014貨物時刻表」においては、巻頭カラー特集として鉄道貨物輸送の仕組み、暮らしを支える鉄道貨物輸送、災害廃棄物輸送、鉄道輸送情報など写真やイラストを駆使し、鉄道ファンだけでなく、一般の方々が読んでも楽しい「鉄道貨物輸送の総合ガイドブック」を意識した作りになっています。「2014貨物時刻表」は、おかげ様で全国の取扱い書店のご担当者や、多くのお客様から好評価をいただいており、歴代の貨物時刻表の表紙の展示を行われた取扱い書店様もございました。平成26年度は貨物時刻表の販売について、全国の取扱い書店様を訪問し拡販に取組む他、鉄道イベントにおいても本部・支部が一体となり、貨物時刻表の販売に努めました。その結果、以前にも増してより多くの方々に、鉄道貨物輸送の仕組みやその担っている役割を知っていただくことができました。

6 会員等増加運動の推進

平成26年度は会員増加の施策として、9月より試行的に新規会員獲得を専任とする「アドバイザー制度」を、近畿、名古屋、東京等7支部で実施しました。また、1月より既存の個人会員を対象とした「会員のご紹介制度」を創設し、新規会員の獲得に向けた取組みを強化しました。

結果として、147名様の入会が有りましたが、法人会員様を中心に164名様の退会が有り、会員数は17名様の減少となりました。

今後は、既存の取組みを更に充実させることに加え、「アドバイザー制度」の拡大等により、会員の拡大に取り組んでまいります。

7 本部表彰

協会事業の発展に功績のあった方並びに鉄道貨物輸送に貢献された方などを対象として、定時社員総会において、協会事業協力者表彰の特別表彰(1名)、協会事業協力者表彰(11名)と鉄道貨物輸送功労者表彰(16名)の本部表彰を行いました。なお、特別表彰はエコレールマークの認知度向上に多大な貢献をされた方への表彰として行いました。

8 本部主催会議

(1)第3回常任委員会	4/10(木)	如水会館
(2)第10回理事会	4/24(木)	如水会館
(3)平成26年度定時社員総会	5/26(月)	如水会館
(4)平成26年度全国事務局会議(代替)	9/ 5(金)	協会本部
(5)第11回理事会及び評議員・支部長合同会議	11/17(月)	如水会館
(6)平成26年度本部委員会		
・利用促進委員会	4/16(水) 5/21(水) 7/16(水) 9/17(水) 10/15(水)11/19(水) 1/21(水) 2/17(火)	協会本部
・輸送品質向上委員会	4/18(金) 5/29(木) 7/23(水) 9/19(金) 10/17(金)11/26(水) 1/23(金) 2/20(金)	協会本部
・委員長・副委員長会議	12/ 4(木)	協会本部
・本部合同委員会	3/13(金)	日通本社
(7)第31回エコレールマーク運営・審査委員会	2/26(木)	協会本部
(8)平成26年度幹事長・事務局長会議	3/ 9(月)	如水会館
(9)第12回理事会	3/20(金)	協会本部
(10)会誌「マンスリーかもつ」編集委員会	毎月1回	協会本部

※各支部活動実績を全て記載した平成26年度事業報告を当協会ホームページに掲載する予定です。

政府等関係機関への要望書

公益社団法人 鉄道貨物協会

私ども公益社団法人鉄道貨物協会は、国民生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境に対する負荷低減に資することを目的として、貨物輸送方法について調査及び研究を行い、その成果の普及啓発活動を通じて、前述の目的を実現すべく活動しております。

ここに協会会員（荷主企業、利用運送事業者、鉄道事業者等により構成されている）の総意として、下記について要望致しますので、原案どおり宜しくお取り計らい願います。

記

1 輸送ニーズに応えた鉄道貨物輸送を支えるインフラの整備

昨今、日本国内における少子高齢化の進展に伴う、長距離トラックドライバー不足、また、地球温暖化防止を目的とした二酸化炭素排出量削減の観点から、鉄道貨物輸送へのモーダルシフトの機運がますます高まっています。

このような鉄道貨物輸送に対する経済･社会的な要請に応える上で、安全･正確･迅速な輸送を支えるインフラの整備は欠かせません。特に昨年、東海道本線由比～興津間にて土砂流入が発生し、10日間もの長期に亘り東海道線を経由する鉄道貨物輸送網が寸断された事は、モーダルシフトの機運を削ぐものであったことは否めません。これについては、既に国土交通省においても、物流審議官が主宰する検討会にて取り組まれているところであります。

以上のような状況の中で、鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを一層推進していくために、輸送ニーズが高く、輸送力が逼迫している区間の輸送力の増強（有効時間帯の良質のダイヤ確保、待避線等の整備）、着発線荷役（E&S）方式の拡大等の鉄道貨物駅施設の機能･利便性向上のための設備投資、老朽化した機関車･貨車の取替等、従来からの公的支援の継続･拡充に加えて、以下の新たなる支援措置を強く要望します。それは自然災害等により主要幹線が一定期間不通となった場合の対応として、緊急代行輸送のためのコンテナ緊締車の増強、駅構内における積み替え施設の充実が不可欠であります。激しい気象異変に伴う自然災害は今後むしろますます増加すると言われているだけに、正に骨太の支援措置を強くお願い致します。

2 モーダルシフトに関するソフト面での具体的支援策の創設

少子高齢化の進展、若年層の「クルマ離れ」現象などの影響により、ドライバー不足が顕在化しております。環境面から語られることの多かったモーダルシフトですが、前述のような状況から、効率的な輸送へのニーズの高まりとも相まって、長距離貨物輸送の受け皿として鉄道貨物輸送が真に必要な輸送モードとなってきております。

鉄道貨物輸送へのモーダルシフトについては、本年2月に閣議決定された交通政策基本計画において、基本的方針として「成長と繁栄の基盤となる国際･地域間の旅客交通･物流ネットワークの構築」及び「持続可能で安心･安全な交通に向けた基盤づくり」の方針の中でそれぞれ「鉄道貨物輸送の拡大」や「モーダルシフトの推進について具体的な数値目標」が示されており、鉄道貨物輸送へのモーダルシフトの推進はまさに国策であると言えます。つきましては、鉄道貨物輸送へのモーダルシフトの取組みに対し、鉄道利用者にメリットが生ずる骨太のインセンティブ制度の導入や鉄道車両の軽油引取税減免措置の延長、また、鉄道貨物輸送の充実の観点から駅構内における構内中継トラックによるコンテナ移送に係る軽油引き取り税についての減免措置等、ソフト面においても更なる支援措置の拡充を是非お願い致します。

3 鉄道貨物輸送と国際物流の関係強化

今日、生産活動のみならず、物流分野においても、グローバル化の進展には目を見張るものがあります。こうした物流マーケットの構造変化を受けて、鉄道貨物輸送はこの分野においても役割を果たしていく事が期待されております。

特に国際海上コンテナ輸送についてはISO規格のハイキューブコンテナによる輸送がその多くを占めております。しかしながら、当該コンテナの日本国内における鉄道輸送については、現時点において難しい状況となっています。これらに対応する対策として、JR貨物においては、ISOハイキューブコンテナを積載可能な低床貨車の開発に取り組んでいます。低床貨車が完成した暁には、道路輸送から鉄道貨物輸送へのモーダルシフトが可能となり、地球環境負荷の低減、トラックドライバー不足の解消に資することになります。これらの効果はまさに国益に資するものと考えます。ついては、この低床貨車開発等に対しても、特段のご支援をお願い致します。

4 整備新幹線開業後の並行在来線「三セク会社」の安定的運営に向けた支援

鉄道貨物輸送は、広域的物流ネットワークの一部を形成し、生活必需品、農産品、生鮮食料品等を供給する重要インフラとして、我が国経済の骨格の一部を形成する大事な使命を果たしています。整備新幹線開業後も並行在来線三セク会社の安定的運営を維持することで、鉄道貨物輸送のネットワークを堅持し、安定的輸送を確保することが不可欠です。

北海道新幹線の青函トンネル区間における新幹線と貨物列車の共用走行のあり方については、国土交通省に設置されたWGにおいて、技術的な検証が行われています。

検証に際しては、鉄道貨物輸送が本州と北海道を結ぶ不可欠の物流インフラであることに鑑み、安全性が担保されるとともに、大量性･定時性･安定性等の鉄道貨物輸送の機能が損なわれることのないよう、確固たる措置を講じて頂くことをお願い致します。

5 エコレールマーク事業の推進

当該事業は、環境に優しい鉄道貨物輸送を活用し、地球環境問題に積極的に取り組んでいる認定企業や認定商品を対象に、一般の方への公表または商品等にマーク表示を行うことにより、消費者が認定企業の環境対策を意識すること、企業が消費者の意識変化に対応すること等を通じて、消費者と企業が一体で環境にやさしい鉄道貨物輸送の利用促進に寄与することを目的とする啓発活動です。

当該活動は急速に普及の速度を高めており、直近のエコレールマーク運営･審査委員会では、認定件数は300件に到達しました。また、当取組みに賛同して頂く企業として、この度、我が国を代表する大手流通事業者にも当活動にご賛同頂くなど、着実に実績を上げてきております。結果として、近年、エコレールマークは公立中学校や高等学校における入学試験問題にも出題される等、社会的な認知度も高まってきております。

以上のような背景もあり、「この商品にはエコレールマークが付いている。それなら私も買おうかな。」という風潮が浸透しつつあります。この流れをさらに推し進めるため、エコレールマーク認定企業、認定商品について、国が直接社会に対してアピールするなど、モーダルシフト促進の意識の高揚を図るための具体的なご支援をお願い致します。

エコレールマーク 認定証贈呈式を実施

企業認定・商品認定
「玄関・リビング用 消臭力 香りStyle」取得

エステー株式会社 九州工場

平成27年5月11日に、エステー(株)本社(東京都新宿区)においてエコレールマーク認定証の贈呈式が行われました。

エコレールマーク制度とは、地球環境にやさしい鉄道貨物輸送を一定以上利用している商品または企業に対してエコレールマークの認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。エコレールマークの表示された商品等を通じて、流通過程において企業が地球環境問題に貢献していることを消費者に意識していただき、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを推進することを目的としています。平成27年2月26日に開催された第31回エコレールマーク運営・審査委員会(委員長：苦瀬博仁流通経済大学教授)において、同社九州工場がエコレールマーク取組企業に認定されるとともに、「玄関・リビング用 消臭力 香りStyle」がエコレールマーク認定商品となりました。

贈呈式では、冒頭、開藤常務理事の挨拶があり、次にエステー(株)製造部門担当 石川久美子常務執行役へ取組企業の認定証が贈呈され、続いて同社製造部門 野村竜志副部門長へ商品認定の認定証が贈呈されました。最後に石川常務執行役よりご挨拶をいただき、式は閉会となりました。

石川常務執行役へ取組企業の認定証を贈呈

野村副部門長へ商品認定の認定証を贈呈

エステー(株) 石川常務執行役のご挨拶

弊社の九州工場及び主力商品であります「消臭力」につきまして、エコレールマークの認定をいただき心より御礼申し上げます。また、本日は大変お忙しい中、贈呈式にご出席いただきありがとうございます。

弊社は「空気をかえよう」という企業スローガンを掲げており、空気をとおして暮らしを明るく元気にして、お客様に愛される会社になっていこうということを目指しています。また、北海道のトドマツを原料とした「クリアフォレスト事業」を展開して、空気を浄化する商品の開発にも努めて参りました。私共の商品をお客様に販売するにあたって、企業の社会的責任として商品を安全・確実にお届けするとともに、環境にやさしい輸送手段として鉄道貨物輸送の導入と推進に努めて参りました。この取り組みを今回ご評価いただいたということで、大変喜ばしいことでありますとともに誇りに思っております。

一方で鉄道貨物輸送の役割は、今後ともますます大きくなっていくと予想しております。今回認定いただいたことを励みにして、弊社としては対象商品の拡大や起点となる事業所の拡大を図り、ますます鉄道貨物輸送の利用と推進に努めて参りたいと思います。一層のご指導とご鞭撻をお願いしたいと思います。本日は、ありがとうございました。

当協会 開藤常務理事の挨拶

エコレールマーク認定証贈呈式にあたり、一言お祝い申し上げます。

エステー九州工場様の鉄道コンテナ輸送は、昨年の2月テスト輸送開始、5月本格出荷となり、丸1年が経過しようとしております。そういう中で、本年2月に当鉄道貨物協会にて開催されたエコレールマーク運営・審査委員会におきまして、エステー様はエコレールマークの認定基準を大きくクリアーされ、取組企業認定と商品認定を受けられました。心よりお祝い申し上げますとともに、これまでの積極的なモーダルシフトへのお取組みに深く敬意を表するものでございます。

また、福島工場からの出荷も前向きに検討中と誠に心強い計画をお聞きし、九州工場限定ではなくエステー様全体での企業認定も間近ではないかと期待申し上げます。一方で、「消臭力」へのエコレールマーク印刷も是非ともご検討賜りたいと存じます。今後とも、更なる鉄道コンテナの利用促進をお願い申し上げます。

終わりになりますが、エステー様のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

横浜本牧駅見学会を開催――千葉支部

●期日：平成27年3月24日（火）　●場所：横浜本牧駅・日清オイリオグループ（株）（横浜市）

千葉支部では会員企業より10名が参加し、横浜本牧駅見学会を開催しました。

初めに、神奈川臨海鉄道（株）の会社概要と横浜本牧駅の取扱量・主な取扱い品目等の駅概況について説明がありました。同駅は、昭和44年に旧国鉄 根岸駅に接続する神奈川臨海鉄道線本牧操駅として営業が開始され、平成元年に海上コンテナ輸送開始、平成2年には横浜本牧駅へ駅名改称されるとともにJRコンテナの営業が開始されました。

続いて参加者一同は駅構内へ移動し、トップリフターによる積込み作業や「デバン・オンレール」システム等を見学し、約1,000㎡の広さの保税蔵置場について概要説明等を受け、最後に質疑応答を経て駅見学会は終了しました。

次に、日本最大級の製油工場である日清オイリオグループ（株）横浜磯子事業場の見学を行い、植物油について知見を広めることができました。

日清オイリオグループ（株）横浜磯子事業場

横浜本牧駅

貨物時刻表新規取扱い書店の紹介

4月4日から紀伊國屋書店新宿南店・新宿本店・西武渋谷店で2015貨物時刻表の取扱いが開始となりました。新宿南店の山﨑 均さんにお話しを伺いました。

新宿南店3階の時刻表コーナーにて、「貨物時刻表」を手にする山﨑さん。

―取扱いを開始する前の貨物時刻表に対するイメージはどうでしたか？

とてもよく売れるというのは噂で聞いていたのですが、実物も見たこともなく一か八かで協会へ電話してみました。

―山﨑さんから見た2015貨物時刻表の感想を教えてください。

巻頭カラー特集、JRコンテナの紹介、フォトギャラリーなどサービス旺盛な書籍と思います。

―その他、メッセージ等あればどうぞ。

貨物時刻表発行元の鉄道貨物協会は、敷居が高くて堅苦しいイメージがありましたが、担当の職員さんの対応で払拭されました。当店、新宿本店、西武渋谷店で取り扱っていますので是非お越し下さい。

新宿南店

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-2
タカシマヤタイムズスクエア
TEL 03-5361-3301

新宿本店

東京都新宿区新宿3-17-7
TEL 03-3354-0131

西武渋谷店

東京都渋谷区宇田川町21-1
西武渋谷店パーキング館1F
TEL 03-5784-3561

貨物時刻表へのメッセージ

Vol.3

2015貨物時刻表が、私たちの周りにある「モノ」を紹介する雑誌『モノ・マガジン』（5月2日号）で掲載されました。同誌はH25年12月16日号で鉄道の特集を組み、その中でも「アナタの知らないカモツの世界」という貨物列車のページ内で、2013貨物時刻表を紹介していただきました。モノ・マガジン編集部の上岡 篤さんにお話しを伺いました。

—「モノ・マガジン」の歴史、内容、読者層についてお話ください。

今年で発刊34年目に入りました。1個の「モノ」、1個のお菓子から自動車までの食品・電化製品・ファッション・インテリア等を紹介します。皆さんが買えるモノが中心ですが、鉄道のように「利用されているモノ」を紹介する場合もあります。読者層は30代後半～40代の男性が中心です。

—H25年12月16日号特集（鉄道大研究）で2013貨物時刻表を紹介していただいたことについて。

私が思ったのは、そもそも貨物列車は絶対に乗ることができない列車、ということです。駅で通過する貨物列車を見て、「何が運ばれ、どこに行くのか。」ということに注目すれば面白いのではと思いました。貨物時刻表は、運転時刻表だけでなく機関車配置表・機関車運用表も載っていて、巻頭カラー特集も真摯に書かれているので、こんな時刻表があるのかと感心しました。

—特集を出される前の、貨物列車のイメージを教えてください。

子供の時から鉄道が好きで、時刻表を見て駅名を覚えました。小学校入学前に「三鷹」や特急名の「とき」（朱鷺）の漢字が書けました。機関車が好きなのですが、特にEF64、65、66形式牽引の貨物列車が、モーター音のうなりを上げて走行する姿に感動していました。

—今回、5月2日号で2015貨物時刻表を取上げていただきました。

こういう（鉄道の時刻表の）世界にも、リニューアルがあることを皆さんにお知らせしてもよいのでは、と思いました。最近では地球温暖化の原因の1つであるCO_2（二酸化炭素）を減らすため、様々な企業が鉄道を利用する話をよく聞くので、鉄道貨物輸送は見直されているとも思います。

—最後に2015貨物時刻表の感想・ご意見をお聞かせください。

一番好きなのは「特殊な貨物輸送：レール輸送」（p40-41）です。レールというモノも当然消耗します。その輸送方法を真剣に追いかけたところが、良いと思います。

モノ・マガジン「貨物特集」で貨物時刻表を紹介

モノ・マガジンH25年12月16日号（中央）で「鉄道大研究」の特集が組まれ、貨物列車のページ（左）の中で貨物時刻表が紹介されました。

モノ・マガジン5月2日号やバックナンバー、定期購読について

【お問い合わせ先】
ワールドフォトプレス販売部
03-5385-5701

貨物時刻表へのメッセージ

Vol.4

2015貨物時刻表を、書籍紹介の月刊誌『ダ・ヴィンチ』と連動しているweb版「ダ・ヴィンチニュース」（4月19日号）[注1]で取り上げていただきました。ダ・ヴィンチ編集部の中川寛子さんにお話しを伺いました。

―「ダ・ヴィンチ」と「ダ・ヴィンチニュース」について教えてください。

雑誌『ダ・ヴィンチ』は昨年5月発売号で創刊20周年を迎えました。文芸とコミックをメインに旬の本を紹介しています。作家さんへのインタビューや、書き下ろし作品を掲載、毎月著名人が表紙を飾ります。「ダ・ヴィンチニュース」はwebで電子書籍を紹介する「ダ・ヴィンチ電子ナビ」が前身で、昨年1月に内容を一新しました。コミック、文芸だけでなく芸能、ライフスタイル、ビジネス、スポーツなど幅広いジャンルのニュースを日々掲載しています。「鉄道」関連の記事では、滋賀を舞台にしたアニメ「けいおん!」の京阪電鉄のラッピング電車や中央線の魅力、東西の通勤電車の違いなどを紹介しました。

―今回、2015貨物時刻表を取り上げていただいたことに関するお話を聞かせてください。

当編集部で企画する場合、事前にアクセス回数等統計を使って調査を行います。「鉄道」という大きなくくりは好評ですが、貨物時刻表は一般書ではないので、「そのままレビューしたのでは、読者には面白さは伝わらない。」と思いました。そこで鉄道好きな著名人（ダーリンハニー吉川さん）に貨物時刻表を語っていただければ良いのでは、と考えました。

―吉川さんへの取材はいかがでしたか？

吉川さんが今回の企画を快く引き受けてくださったこともあり、熱い鉄道トークで盛り上がりました。途中、鉄道関連の歌を皆で聞く場面があったり、旅客と貨物が交差するポイント地点や「鉄道チャンネル」についての話まで多岐にわたりました。「鉄道好きな吉川さんから見た貨物時刻表の世界」ということで、「鉄道」全般のお話から鉄道ファンにとっても少し特殊な「貨物」について、語ってもらいました。吉川さんがお話した「存在が地味なぶん、"お前を見守っているのは俺だけだぞ"って感覚が強くなるんでしょうね。しかも、アイドルならインディからメジャーに昇格する可能性がありますが、貨物にはそれがない。貨物はず一っと貨物のままですから」という点に共感しました。

―中川さんご自身から見た「貨物列車」についてお聞かせください。

以前常磐線、武蔵野線沿線に住んでいたので、長い貨物列車が目の前を通過する光景は日常的だったので、非常に身近に感じていました。

―最後に2015貨物時刻表の感想・ご意見をお聞かせください。

【注1】

「鉄道BIG4・ダーリンハニー吉川が語る『貨物時刻表』というコスモ」という題で、吉川さんが貨物時刻表の魅力をお話しています。

2015版付録のダイヤグラムを見る度、何をどこまで運ぶんだろうと好奇心をかきたてられ、夢があるなと感じます。また「JR貨物の主要な車両」（p28−33）を見て、車両の種類の多さに驚きました。地図や時刻をながめていると旅行気分にひたれます。もし機会があれば、女性も手に取りやすいような記事があるといいですね。たとえば2014版で紹介された、アイスクリーム輸送[注2]や、お菓子のメーカーが制作した私有コンテナの紹介などは興味深いです。また、鉄道貨物輸送に携わる女性職員の方のお話があると、女性ファンも増えるのではないかと思います。

【注2】 江崎グリコ様のアイスクリームを、東京貨物ターミナル駅～百済貨物ターミナル駅・福岡貨物ターミナル駅で、冷凍コンテナを利用して輸送しているお話を掲載しました。

ダ・ヴィンチニュースのサイトURLはこちらです。
是非、ご覧ください。

http://ddnavi.com/

支部自慢（しぶじまん）

水戸支部　〒310-0015　水戸市宮町1-1-21 JR貨物水戸営業所内
TEL：029-227-2113　FAX：029-227-2147

水戸駅南口

左）隅田川機関区水戸派出
右）北東京支店水戸営業所

水戸支部の事務局は、歴史と文化に育まれた、緑豊かな水戸市にあります。水戸駅から徒歩5分のJR貨物水戸営業所内にあり、線路沿いに建物があるため、常に列車の気配を感じられ、隣には隅田川機関区水戸派出があります。

福島県のいわき地区から常磐線沿いに日立地区、水戸地区、土浦地区の4地区があり、会員の皆様と連携して支部の運営を行っています。

当支部エリアは、いわきから鹿島まで太平洋を望む長い海岸線と温暖で広大な自然に恵まれています。今回は、水戸地区内にある「海と空と緑がともだち 国営ひたち海浜公園」をご紹介します。

数多くのアーティストが出演し、昨年の夏は約24万人を動員した日本最大の野外ロック・フェスティバル「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」の開催地として有名な茨城県ひたちなか市にある国営ひたち海浜公園は、開園面積約200haにも及ぶ広大な面積のなかに四季折々のフラワースポットやサイクリングコース、アスレチック広場、バーベキュー広場（要予約）、遊園地などがあります。各所にある大規模な花畑は、春にはスイセン、チューリップ、初夏にはネモフィラ、バラ、夏にはジニア、秋にはコキア（ほうき草）やコスモスなどが咲き、子供から大人まで幅広い年齢層の方々が一緒に楽しむことができ、何回訪れても私たちの心を癒してくれます。

コキアとコスモス

スイセン

チューリップ

ヒマワリ

ネモフィラと空

特に、ひたちなか市内で一番標高が高く太平洋も望める「みはらしの丘」は、4月下旬から5月中旬にかけてネモフィラで丘一面がブルーに染まり、青い空とネモフィラとの境界線が分からなくなってしまうほど。夢の中にいるようで、他では決して味わえない景観です。

ネモフィラが終わると、みはらしの丘はかわいらしい形のコキアが植えられます。夏の緑色から少しずつ紅葉し秋には丘一面を真っ赤に染め上げて、コスモスとともにみはらしの丘を彩ります。

みはらしの丘ネモフィラ

みはらしの丘コキア（紅葉）

（写真提供：国営ひたち海浜公園）

2015.3.14 上野東京ライン開通　**一部の特急列車が東京駅・品川駅まで直通運転。常磐線特急列車が便利で快適になりました。**

SHOSEN 株式会社書泉

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3-2
TEL.03-3295-0011 https://www.shosen.co.jp/

**東京、秋葉原付近の3店の書店。アイドルイベントやアニメ、鉄道、格闘技に強い書店です。
グランデ、ブックマート、ブックタワーの3店舗でお待ちしております。**

書泉グランデ

貨物時刻表取扱店

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-3-2
TEL.03-3295-0011

6階鉄道フロア

神保町駅から徒歩1分。書泉グランデは昭和23年創業の老舗書店「書泉」の本店です。鉄道、アイドル、格闘技(プロレス)、乗り物、ミリタリー、アウトドア、ボードゲーム、精神世界などの、趣味人に向けた専門性の高い書籍を豊富に取り揃えております。中でも6Fの鉄道フロアは"鉄道ファンの聖地"とも呼ばれ、書籍のみならず、鉄道部品やグッズの販売など鉄道ファンならずとも見ているだけで楽しめるフロアとなっております。7Fのイベントスペースでは鉄道イベントを始めとする各種イベントを多数開催しております。

書泉ブックマート

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-21-6
TEL.03-3294-0011

神保町駅から徒歩3分。女性向けコミック・ライトノベル専門書店です。少女コミック、少年コミック、ライトノベル、ボーイズラブ(BL)、ティーンズラブ(TL)を豊富に取り揃えております。貴重なサイン本の販売やサイン会の開催などを随時実施中です。

書泉ブックタワー

貨物時刻表取扱店

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
TEL.03-5296-0051

秋葉原駅から徒歩1分。趣味人専用の大型書店です。鉄道、アイドル、格闘技、乗り物、ミリタリー、コンピューターといったジャンルごとに専門性の高い書籍を豊富に取り揃えております。また、圧倒的な商品点数を誇るコミックス、ライトノベル、SF小説はファンも納得の品揃えです。6Fのアメコミコーナーも大変人気です。また、書泉ブックタワーは9Fのイベントスペースにてアイドルイベントを多数開催しており、"アイドルイベントの聖地"と呼ばれています。イベントスペースは普段、展望休憩室として一般に開放しています。

5階鉄道フロア貨物時刻表販売

協会ニュース

平成27年6月～7月 行事等の予定

本　部

6月　3日(水)／会誌編集委員会(本部会議室)
7月　1日(水)／会誌編集委員会(本部会議室)
7月10日(金)／全国事務局会議(如水会館)
7月15日(水)／第3回利用促進委員会(本部会議室)
7月29日(水)／第3回輸送品質向上委員会
(物流施設見学)

支　部

●**北海道支部**　7月30日(木)･31日(金)／役員等施設見学会(帯広地区)
●**近 畿 支 部**　6月　9日(火)／物流施設見学会
6月27日(土)･28日(日)／第7回レールエキスポ京都(京都市･ホビースクエア京都)

講演会等の開催予定 (平成27年5月25日現在)

開催支部	日　時	会　場	講　師	演　題
北海道	6月19日(金) 16：45～	センチュリーロイヤルホテル (札幌市)	北海道立総合研究機構環境科学研究センター 自然研究部研究主幹　農学博士　宇野裕之氏	北海道の自然環境とエゾシカ対策の現状
宇都宮	6月25日(木) 16：00～	ホテルニューイタヤ (宇都宮市)	Vo.：KA-Ki(滝口梓氏)、 G.：矢萩暁氏、Per.：渡辺雄一氏	音楽はタイムマシン ※コンサート
水　戸	6月16日(火) 16：00～	三の丸ホテル (水戸市)	(一社)茨城県トラック協会 専務理事　田所憲司氏	トラック輸送の現状と課題について(仮)
東　京	6月18日(木) 15：00～	芝弥生会館 (東京都港区)	防災･危機管理アドバイザー 山村武彦氏	企業における実践的防災対策と危機管理 ※満席となりました
静　岡	6月18日(木) 15：00～	ホテルシティオ静岡 (静岡市)	FDA(株)フジドリームエアラインズ	リージョナルエアライン(地域航空会社) FDAのおもてなし
名古屋	6月16日(火) 15：20～	名古屋商工会議所 (名古屋市)	元中日ドラゴンズ選手 小田幸平氏	17年間の野球界で経験したこと、学んだこと
米　子	6月23日(火) 15：30～	米子ワシントンホテルプラザ (米子市)	(株)日本綜合経営協会 杉尾秀哉氏	報道マンが語るニュースの裏側
岡　山	6月22日(月) 16：00～	メルパルク岡山 (岡山市)	岡山県産業労働部	未定
四　国	6月22日(月) 16：00～	リーガホテルゼスト高松 (高松市)	officeアイム 森川あやこ氏	こころをつなぎ互いに理解を深め合う!～職場内をスムーズにするチームワークとコミュニケーション～
広　島	6月30日(火) 16：45～	ホテル広島ガーデンパレス (広島市)	中国電力(株)陸上競技部監督 坂口泰氏	たすきをつなぐ心をつなぐ

参加ご希望の方は、当該支部へ直接お問い合わせください。なお、定員になり次第締め切りとなりますので、ご了承ください。
(連絡先は当協会ホームページ等をご参照ください)

MONTHLY かもつ・6月号　第65巻・第6号　2015年（平成27年）6月1日発行（毎月1日発行）

発行／公益社団法人 鉄道貨物協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4 吹田屋ビル4階
☎03-5256-0577　FAX03-5256-9220
鉄道貨物協会インターネットホームページアドレス http://www.rfa.or.jp

編集／ 公益社団法人 鉄道貨物協会・日本貨物鉄道株式会社
（株）ジェイアール貨物・リサーチセンター
印刷／（株）恒陽社印刷所活版事業部

MONTHLY かもつ

平成27年6月1日発行（毎月1回1日発行）昭和26年3月2日 第三種郵便物認可

MONTHLY かもつ 6月号 第65巻 第6号

本体価格400円（税・送料別 会員の購読料は年会費に含まれます）

ISSN 0913-9850

003-2015-0036

新 生きるパワーあふれる株式会社Days_他

本貨物